

平の堆積岩と化石

五箇山は、「秘境五箇山」とかつて言われたように、地形が険しく、そこを流れる庄川の本流や支流も深い峡谷を形成している場所が多くなっています。これは、五箇山地方を形作る山々の大半が、硬い火山岩でできているためです。その中で道沿いに堆積岩の露頭や転石（道ばたにころがっている石）を観察できる場所は限られていますが、数箇所あります。いずれも、陸上で堆積したれき岩層や砂岩層です。

・上梨東方の旧156号線沿いの礫岩層：国道156号線上梨トンネルができる前は、下梨から上梨へは庄川左岸側の絶壁に沿って道路が作られていた。この道の上梨集落側から数百m歩くと、礫岩層が見られる。この礫岩層は少し変わっていて、礫と礫の間が溶岩で埋められているように見える。なお、この露頭へ行く手前に上梨から相倉へ行く道が分かれており、その道沿いにも礫岩の露頭がある。

・上松尾周辺の堆積岩と化石：旧平村の上松尾地内には、狭いながら礫岩層が存在し、数本の谷には、刀利で見られるような正珪石や植物化石を発見することができる。

上梨東方の礫岩層



上松尾地内の沢の転石に含まれていた植物化石

